

第36回

しんわ美術展

展示期間

2024年10月26日(土)▶11月4日(月)
午前10時～午後6時(最終日は、午後2時)

入場
無料

津山市立文化展示ホール(アルネ津山 4F)で開催
第1次審査を通過した全作品を展示します。【約150点を予定】



第35回 文部科学大臣賞
Deeply touch [洋画]
和崎 正美 (鳥根県益田市)



第35回 グランプリ
バウムグーヘン [洋画]
上田 繁 (大阪府大阪市)



第35回 金賞
卑怖 [洋画]
木太 裕美 (香川県高松市)

津山しんわ文化財団は、昭和51年に津山信用金庫の創立50周年を記念して、同金庫からの基金により設立しました。主な目的は、地域の文化意識の向上と文化事業の育成を通じて郷土の発展に寄与することです。その事業の中核をなす「しんわ美術展」は、平成元年に津山市制60周年を記念して第1回が開催されたもので、翌年からは、画家を目指す郷土の若い方々を奨励し、更に進化させたいとの思いから、全国公募の美術展に切り替えました。「しんわ美術展」が他の公募展と異なる点は、①出品料・入場料が無料②事前に審査員を公表しない、という点にあります。当財団の事務局は津山信用金庫が担っており、企画・立案から運営・管理まで全てを担当しています。津山信用金庫では、支店が小さな美術展としてお客さまの憩いの場となっており、今後も地域貢献活動のさらなる充実を迫りまいます。

■主催 一般財団法人 津山しんわ文化財団
〒708-0022 津山市山下30-15 津山信用金庫内
TEL. 0868-22-4121 FAX. 0868-32-2958

■後援 岡山県・津山市・真庭市・美作市・山陽新聞社・津山朝日新聞社
テレビ津山・真庭いきいきテレビ・みまちゃんネル・鏡野町有線テレビ
津山芸術文化博企画運営委員会

作州地域の活性化応援信用金庫
作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

■協賛  津山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tsuyama/>
e-mail : tsushin@mx1.tiki.ne.jp

■協力 がざい石はら・中国画材

過去の優秀作品



第34回 文部科学大臣賞

8月15日 [洋画]

田名後 公憲
(奈良県奈良市)

画題の8月15日という日付は、第二次世界大戦の終戦記念日である。家族を戦争で失ったであろうある一家の肖像と思われる。6人の家族が様々な思いでその日を迎えているようだ。しかし、足下から暗いかげが忍び寄る不安をも表現している力作である。



第34回 グランプリ

庭園 [洋画]

石田 のぶ
(鳥取県米子市)

足立美術館の庭園だろうか。省略、単純化と色彩によりスッキリと気持ちの良い造形となっている。近づいてみると、細部にわたり丁寧な仕事をされており、遊び心も加わって完成度の高さが目を引く。



第33回 文部科学大臣賞

天空の華 [日本画]

ヤマモト 實 (三重県名張市)

黒箔を巧みに利用した淡い色調の中に深い精神性が内含され、重厚な静寂感を醸し出している。虚実混交の画面には、ほどほどの装飾感もあり華やかでもある。



第33回 グランプリ

光と影 [洋画]

大西 隆夫
(滋賀県大津市)

廃校の教室でしょうか。描写力の確かさが人の気配の無い空気感を上手く表現され、観る人にコロナ禍の折の不安感をも感じさせる構成力も大きな効果となっている。



第31回 文部科学大臣賞

日記KAZU-秋 [洋画]

永原 和子 (岡山県岡山市)

自分の精神世界を持った上での造形力、もしくは画力を持ってそれを再構築されていて、観る者を絵の中へ引き込む魅力を持った作品。ファンタジックでありながらも地球環境を憂いている様でもあり、静かなメッセージ性も感じられる。正方形の画面も額も含め、キャンバスからはみ出した絵画部分もトータルでの作品となっている。



第31回 グランプリ

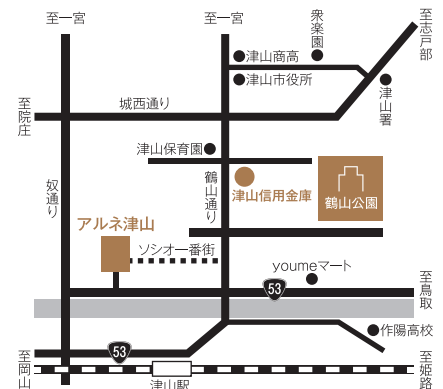
町・肆 [洋画]

稲岡 篤 (岡山県真庭市)

巧みな構成で、現実とも虚構とも思える世界を編み出している。色彩に冴えがあり、際立ったイメージを持った作品。若い人の瑞々しい感性が作品の鮮度となり、ややもすると地味になりがちなモチーフを全く別の風景としてとらえていることに共感を覚える。

しんわ美術展の歩み

当財団のメイン事業である「しんわ美術展」は、昭和56年と58年に「郷土出身作家東京作州会美術家展」を、また昭和61年には「在京、在津作家春の美術展」を企画開催し、その後作品展として全国に公募を広げ、今年で35回を数えることができました。前回は2,100名を超える方々にご来場頂き、絵画の素晴らしさを作州地域から全国各地へ発信することができました。これも偏に地域の皆さまのご協力はもとより、全国の画家を目指す皆さまから沢山のご応募を頂いているお陰と深く感謝申し上げます。審査員の先生方からも「岡山県北の地方都市である津山市で全国公募のコンクールが、ここまで長く続いてきたのはちょっとした奇跡である」との言葉を頂いています。この奇跡の灯を絶やすことのないよう、創意工夫と研鑽を重ね、これからも、地域の文化・芸術面での一大イベントとして、積極的に取り組んでまいります。



作州地域の活性化応援信用金庫
作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫



津山信用金庫

理事長 松岡 裕司

